



## 高校生が考える

## SDGS

第5回

8月号から連載コーナーでSDGS(持続可能な開発目標)を市内高校・高専の生徒・学生が考えています。第5回は2巡目の日星高校。3人の生徒に「住み続けられるまち」になるためには何が必要かをテーマに話を聞きました。

### ◆万願寺甘とう大福

まず舞鶴市の課題をクラスや家族のイメージ調査から見つけ、魅力を知るところに着眼し、スイーツを作ることになりました。農家を取材し、AIを使って万願寺甘とうを作っていることを知り、甘とうを使用した大福を作りました。地元の特産品の魅力を知ること、若者の呼び込みや地域の活性化につながると思います。

### ◆パンフレットコンクール

観光で舞鶴を盛り上げたいと思い、課題を洗い出したところ、若者は魅力を知らないことが分かりました。もっと知ってもらうために、高校1・2年生を対象にした、魅力を学び、冊子にまとめるパンフレットコンクールを考えました。作成されたパンフレットをホテルや港に配架し、観光客に市民の知る

スポットを見てもらうことで、市民と観光客の懸け橋にしたいと思いました。

### ◆人と人とのつながり

市内のカフェに取材に行った時に店長が「舞鶴が好きだから盛り上げたい」と言っているのを聞き、私も地域づくりに協力したい思いが芽生えました。話すまでカフェの店長は他人でしたが、思いを聞くことで身近に感じて、それは人と人とのつながりが生まれたからということに気付きました。つながりが増えて情報を持つ人が増えることで発信する人、関心を持つ人が増えるのではないかと感じ、地元のことを取材して動画を作成しました。

／ 私たちが考えました！ ／

